

中学生が陸上自衛隊練馬駐屯地で訓練を体験

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は2月1日（金）、横浜市内の中学生4名が参加した、陸上自衛隊練馬駐屯地で実施された「総合的な学習の時間」を支援した。

当日の空気は冷たかったものの晴天に恵まれ、当初駐屯地力カウンセラー室で広報班長・高橋2陸尉のブリーフィングが行われた。

次に基本教練に臨み、冷たい風が吹く中、生徒たちは方向変換の足の動かし方や戸惑っていたものの、繰り返すことによりスムーズに動けるようになった。

その後、史料館を見学、楽しみにしていた体験喫食となった。隊員食堂に入るとその広さに「わぁー広い」と思わず声が漏れていた。メニューのカレーを一気に頬張るとお腹いっぱいになり、「とても美味しかったです」と完全喫食した満足そうな笑顔が印象的だった。

食事が済んだ後、定年退官者の見送りを正門まで見学に行き、大勢の隊員と多くの中隊旗に囲まれた退官者を一緒に拍手で見送った。

昼からは第1普通科連隊の装備品展示の概要説明を受け、個人装具の試着やロープ結索を体験し、「装具は重たかった」「初めてのロープ結索は勉強になりました」等と感想が聞けた。

次に高機動車等の体験試乗を行い「思ったより乗り心地が良かったです」と話してくれた。

最後に担当者へ習い込めたの敬礼をしてから、お礼を述べ練馬駐屯地を後にした。

上大岡募集案内所は、「今後もこのような体験学習を積極的に支援し、学校教育の目的達成に寄与するとともに、自衛隊の活動現況を理解してもらい、防衛基盤の拡充を図っていき、募集成果に繋いでいきたい」としている。



74式戦車横で基本教練



装備車両の説明



個人装備の試着をする生徒



ロープ結索を体験

地方協力本部の広報活動を現場で体験

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は、2月2日（土）、自衛隊神奈川地方協力本部が主催するショッピングセンター「ヨッピー」の広報活動に参加した。正面広場では車両等の装備品展示、ステージでは海上自衛隊東京音楽隊による音楽演奏等、更には募集広報ブースにて、神奈川県本ゆるキャラ「はまにゃん」の記念撮影会等が行われた。上大岡募集案内所からは臨時勤務の陸上自衛隊松戸駐屯地、第2高射特科群所属の女性自衛官である松本陸士長他2名が参加した。

松本陸士長は、普段は第302高射搬送通信中隊で通信の仕事に携わっており、臨時勤務のスタートが現場で行う広報活動となり、最初は戸惑いと緊張が見受けられたが、訪れた人達と言葉を交わすうちに、次第に慣れてきて笑顔で受け答えが出来るようになっていった。

そして、他の広報官から活動要領等を教えてもらいながら会場案内やアンケートへの協力を募集対象者等と呼び掛けたり、グッズを配布したりと終始積極的に活動していた。

最後に、「初めての経験で疲れたけど、現場で活動する広報官の苦労がわかり、とても勉強になりました」と話してくれた。

上大岡募集案内所は、「今後も対象者等の集まる地域や行事でのあらゆる募集広報活動に積極的に参加し、地域住民に自衛隊に対する理解を深めてもらうとともに、地本の募集成果に繋ぎたい」としている。



来場者へ笑顔で対応する松本陸士長

